

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227

広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781

<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成21年6月(2009年) No.5 2 2

## 100畳敷の大凧、空に揚がる OMC八日市撮影会無事終了

恒例のOMC一泊撮影会は、第5土曜日曜日の5月30日～31日、滋賀県東近江市の五個荘並びに八日市大凧会館、そして大凧まつりの100畳敷の大凧揚げの様子を撮影するという、盛りだくさんの内容でした。参加者17名、お天気もまずまずで皆さん、どんな作品が出来上がるのか楽しみです。

今回は関世話役と玉井さんにロケハンに行ってもらい、進藤世話役にも資料集め等いろいろお骨折り頂き感謝しております。宿泊と宴会も八日市ロイヤルホテルで落ちついてひと夜を過ごすことができました。

大阪駅9時発長浜行新快速に乗車、能登川駅にてバスに乗り替え、五個荘の活き活き会前へ凡そ10時半頃到着。ボランティアガイドさんの案内で近江商人屋敷街を撮影することから始まりました。近江商人発祥の地で白壁の蔵屋敷が印象に残る古いたたずまいの街でした。

続いてバスにて八日市駅へ行き、ホテルの送迎バスにて大凧会館へ移動しました。ここは世界凧博物館というだけあって、各地から集めた風変わりな大小の凧が一杯展示されていました。ここで心ゆくまで撮影し、ホテルに引きあげて初日の撮影会は終了しました。

2日目、朝7時40分よりホテルのバスにて愛知川河川敷で行われる大凧揚げの会場へ直行、各自自由に撮影しました。当日は3～7mの絶好の風が吹いており、連凧や中型の凧など元気に揚がっていました。本番の百畳敷の大凧は、クルクル巻いたものをトレーラーで会場へ運び込み、現地で補強の竹を入れて固定し、組み立てるのです。準備に時間がかかるのもうなづけます。これを150人ほどの人が綱を引いて大空へ揚げるサマは壮観でした。曳き手の人たち、うまく揚がったとバンザイを繰り返していたのがとても印象に残りました。

### 6月例会のお知らせ

6月例会は第4土曜日27日午後6時より、大阪市立難波学習センター(JRなんばOCATビル4階)にて開催します。皆様のお越しをお待ちしています。楽しいひとときをどうぞ。

## さあ、どんな作品ができるかな

大風を最終組立てするところは、朝早めに行ったので、近くから撮影できましたが、いざ、揚げる段階になると、危険だからと100 m以上も遠くに追い出されてしまいました。これでは風が揚がる瞬間はロングの画面しか撮れず、いささかがっかりでしたが、安全のためと言われれば致し方ありません。参加者の皆さんも同じ条件で撮影された筈なので、ここはウデの見せどころ、どんなまとめ方されるか楽しみです。

■撮影会作品コンテストは7月例会日の13時30分より例会場にて行います。優秀作品の中から1本、秋のフェスティバル上映作品にノミネートされます。

### ■全国ビデオコンテスト募集中

①第43回東京アマチュア映像祭ビデオコンテスト作品募集中

- ・テーマ自由、10分以内
- ・参加料 1,500円 (返送希望者は500円)
- ・締切 6月末日
- ・送付 新宿区高田馬場4-2-31-2F  
タンタンマンション館内東京アマチュア映像連盟事務局 〒169-0075

②第24回国民文化祭しずおか2009

富士山映像フェスティバル作品募集中

- ・テーマ 富士山 ・長さ 5分以内
- ・応募料 無料 ・締切 9月1日
- ・応募票その他詳しくは会長にご連絡ください。お渡しします。

## 5月例会レポート

新緑の良い季節を迎えております。

5月例会は第4土曜日23日午後6時よりいつもの難波市民学習センターにて開催。

例の新型インフルエンザが流行っていて外出もできるだけ控えるムードの延長線上にあった時期だけに、会員さんの出席率が懸念されましたが、いつも通りの盛会(出席者29名)で、ほっとしました。作品も15本ありましたが、4対3は1本だけ、残り14本はすべてハイビジョンでした。西村さんが右手骨折で2月からお休みでしたが、お元気な姿を見せられほっとしました。

作品も持参されたが左手操作の編集で苦労されたようです。

今月の司会は合原会長、書記、安居氏、映写係はいつもの3人さん(増池、江村、河合)。受付兼証明係、進藤、渡辺の各世話役の担当で会を進行しました。

出席者：天草、有村、石垣、井上、上田、江村、岡本、上総、紙本、河合、河口、関、黒田、合原、進藤、田中、西井、錦、西村、華岡、藤原、前田、増池、宮井、宮崎、森田、安居、吉岡、渡辺の29氏と15本の作品が出品されました。

上映作品(今月の記録と講評：安居世話役)

### 1. 永沢寺と芝桜(W)

増池 茂さん 8分

昨年5月兵庫県三田市にある永沢寺にいかれました。ここは花菖蒲園で有名ですが、一月早いと芝桜の花の絨毯が見られます。芝桜って花が咲く4-5月以外は高さ5センチ未満の常緑の植物ですから一見芝生に見えるようですね。それが桜に似た花をつけるので「芝桜」というとか。花菖蒲はよく見かけますが芝桜の花の絨毯は珍しいので興味を持って見せてもらいました。

### 2. 爛漫(HDV)

有村 博さん 3分34秒

リニアで編集している時、効果が使える機器を間に挟んでいろいろやっていた頃の事が思い出されました。その時の画像をハイビジョン編集の中に入れて花爛漫を演出されました。4:3の画像をいかに16:9の画像にマッチさすか、問題です。ハイビジョン画像はこうして見るとやはりSDの画像との差は明確ですので、SD画像混在の編集は難しいと思います。その実験をしていただき参考になりました。

### 3. 阪神なんば線(HDV)

安居利次さん 8分30分

昨年秋、地下にもぐって阪神なんば線ドーム前駅の工事現場を見学する機会がありました、それからなんば線に関心を持ち、10両連結の快速急行が6両しか止まらない駅をどうするのか、近鉄なんば駅の引込み線3線のうち2線をなんば線にとられてあ

とどうしたのか、等、疑問がわいたので実際にいってカメラに収めてきました。阪神電車も苦勞しているなどということがよくわかりました。

#### 4 壁画の思い出 (HDV)

前田茂夫さん 14分35秒

あの餘部駅に壁画がありました。昭和34年ここに駅が出来たとき当時の小学生が海岸の石を坂を上って持ち寄りホームのベースにしたことを表す壁画でした。新しい鉄橋の建設に伴い今回撤去されました。作者は当時の学校の先生と生徒だった人たちにインタビューをされて壁画の思い出を語ってもらうことに成功されました。インタビューの背景に現代の子供たちによる再現画像をモノクロで入れられたことがタイトルの印象を実感あるものにしたすばらしい作品でした。

#### 5. 明石海峡大橋 (HDV)

天草 稔さん 7分30秒

誰もが一度は渡ったことのある明石海峡大橋、でもあの300m近い主塔の上から眼下の6車線の橋の道路を撮影したアマチュアの画像は初めてです。橋が出来て10周年になる平成20年から極少数ですが見学ツアーが組まれたとか、35万トンのケーブルを固定するアンカレジと共にその規模を実感できるビデオでした。ラストの夕日と観覧車のカットは省き、大橋の標識で終わったほうが良かったのではないかと司会者のお話でした。

#### 6. 水郷めぐり (HDV)

西井 学さん 3分

近江八幡の水郷めぐりを撮られた作品です。岸には桜の花が咲き乱れBGMの笛の音と共に臨場感あふれる画面は見ている人が船に乗っているような錯覚さえおぼえます。信長や豊臣秀次もさぞ満足したことでしょう。ここはやはり京都伏見のようなエンジン付の10石船ではだめですね。人の手による櫂でなければ近江八景の絵になりません。短いがよく出来た作品です。

#### 7. 石垣島で... (HDV)

西村光男さん 9分05秒

神戸空港から2時間半、沖縄を越えてむしろ台湾に近い石垣島に奥様と一緒にいかれました。さすが亜熱帯地域、3月中旬というのに市内は半そで姿の人々。レンタカーで行動されたので北端の灯台や途中の海岸線の美しい光景もカメラに収められています。次は昔人头税のため始まったという織物です。体験できる場所があり奥様が挑戦されました。解説付きで撮影されているので織物のメカニズムよくわかりました。後半早回しされBGMの滑稽感とよくマッチしてタイトルの「石垣島で...」の含みがうまく表現されている作品です。

#### 8. 北国脇往還 (後編) (HDV)

紙本 勝さん 14分10秒

湖東の伊部から関が原まで20kmを8時間かけて撮影しながら歩かれました。20kmと聞いただけで腰をぬかしてしまいますが道々の歴史を語りながらの旅、つい引き込まれてしまいます。これは大変なことですが、紙本さん自身がたびたび出演されているのが効果を発揮しているようです。江戸時代5街道以外の主要街道を脇往還といったそうですが、今も立派な本陣跡があちこちに残っていてさすがと思いました。中仙道をはじめ昔の街道制覇を今も続けておられる紙本さんの健康に乾杯!

#### 9. 梅林に琴の音ひびく (改) (HDV)

吉岡貞夫さん 6分35秒

前回におだしになった作品の改築編です。琴を弾くおじさんの音をBGM代りにして梅林での野点の場面を撮られています。梅林、琴の音、野点、早春にぴったりのロケーションです。ただ上手な弾き手おじさんの風貌がちぐはぐな感じを受けますが何回か見ているうちに親しみを感じるようになりました。そういう意味でもラストにおじさんを再登場してもらってみんなで拍手のカットは良かったと思います。

#### 10. 池田がらがら火祭 (HDV)

上田吉巳さん 7分10秒

池田市の五月山に大ーと大の字に松明が焚かれ8月24日夜にがらがら火祭が行われます。秋を呼ぶ風物詩として有名だそう

です。その夜池田市では若衆が松明を人の字にして練り歩きます。その時たたく鐘の音が「がんがら」と聞こえるそうで祭の語源になったとか、背景はそれぐらいにして作者の上田さんは作品の挿入歌になっている作詞家の友人と一緒に祭にいかれ撮影されたそうです。だからでしょう。作品の祭の絵と詩とがぴったりと一致していました。カラオケのビデオは詩に合わせて絵をとりに行くのですが、作詞家と一緒に作って作り上げるのは初めてです。内情を知ると本当にびっくりしました。すごい作品です。

#### 11. 西宮ヨットハーバー (HDV)

井上勝彦さん 8分33秒

ビデオカメラできれいな静止画が撮れるようになって便利になったと思っていたら、今度は1眼レフカメラでビデオが撮影できるということです。しかもレンズ交換が出来て小さい。そのカメラにお手製のスタビライザーをつけて西宮ヨットハーバーをテスト撮影されました。1080/24P や720/60P など設定を変えて撮影されました。キャノンのレンズをつけたマニュアルフォーカスはきれいなボケが際立っていました。最後に評価をまとめられていたが小型のビデオカメラでしかもオールオートで撮っている者にとってはこういう世界が身近にあるのだと驚いた次第です。これからも新しい世界を教えてください。

#### 12. 箕面夏のおとずれ (HDV)

進藤信男さん 12分

箕面といえば大滝と勝尾寺が有名ですが箕面山龍安寺が滝道沿いにあるとは知りませんでした。修験道の寺とか、護摩がたかれ多くの修験者が集まっていました。7月下旬には箕面まつりが盛大に行われるのですね。この作品は箕面夏のおとずれと題して、滝の紹介、龍安寺に護摩が焚かれると夏祭がもうすぐという設定で、構成されているようですが各パートの関連性が薄いように感じました。画像を取捨選択していつもの進藤さんの主張を重視した作品作りをされたほうがいいのではないかと思います。

た。失礼！

#### 13. 雪の余部 (HDV)

江村一郎さん 6分50秒

全編要らないカットが全くないというすばらしいものです。普通なら長すぎるからきりたくなると思うロングカットが江村さんの手にかかるとうグットタイミングになるところが不思議です。雪の中、神社の旗を持った年配の方がお地蔵さんにお米を供えるシーンは秀逸でした。一転して元気な子供の雪合戦、雪にもめげず会合されるお年寄りの笑顔、そのそばでは日本海の怒涛が灰色に渦巻いていました。これが江村さんの世界なのですね。すごいです。

#### 14. 孫とキャッチボール (HDV)

宮井 健さん 5分30秒

上手ですね。三脚での自分撮りは照れるものですが不自然さが全くありません。日常生活を切り取ってビデオ作品にする。これこそホームビデオの骨頂なのですが意外とむづかしいのです。普通ビデオは「なにか」と撮ってきてそれをもとに作ります。しかしこの手のビデオは「なにか」からつくり出さねばなりません。それこそ主演、撮影、脚本、構成、編集、を、自分でするので大変なのです。ビデオの新しい分野を開拓してください。同志として期待しています。

#### 15. プーケット動物園 (HDV)

森田光春さん 7分34秒

日本の動物園では考えられない情景です。象は調教すると人間の感性に合う行動をするのですね。鼻でサッカーをしたり、絵を描いたり、自発的かどうかは別にして、見ていてすごいな、と思います。さらに爬虫類のワニの調教はどうするのでしょうか、棒でつつくと噛み付いてくるのに、大きく開けた口に人の頭が入ってひやりとするのにワニは知らん顔、危険と隣あわせの調教は理解に苦しみます。本当にタイの動物園はすごいです。

以上で上映を終え、その後は居酒屋組と喫茶組とに別れてそれぞれ二次会を楽しみました。